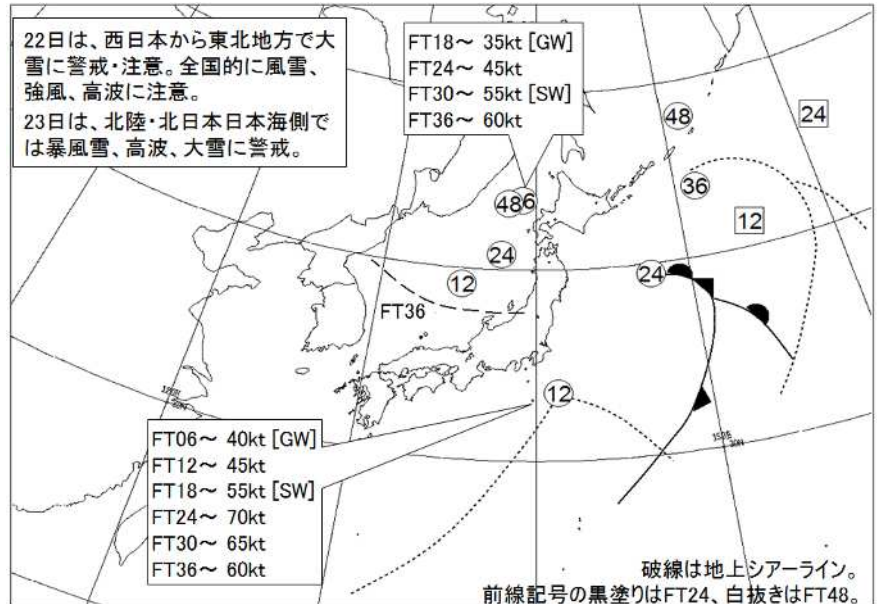


短期予報解説資料 2018年1月22日15時40分発表

気象庁 予報部

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5460～5580m 付近のトラフが九州付近を東進し、トラフ前面の四国の南に前線を伴う低気圧が、発達しながら東北東進。西日本・東日本に降水域が広がり、西日本の山沿いで 15cm/3h 程度の降雪、東日本では平地でも 3cm/3h 程度の降雪を観測。
- ② 中国東北区には、500hPa5100m 付近の寒気を伴ったトラフが南東進している。日本海西部に低気圧が発生し、雲域が拡大傾向。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、22日夜から23日未明にかけて西日本・東日本を通過。低気圧は急速に発達しながら、西日本・東日本の南海上を東北東進し、23日朝には日本の東で70kt[SW]級の勢力となる。低気圧の北側に降水域が広がり、850hPaで0℃以下の寒気が西日本・東日本の太平洋側まで南下しているため、西日本の内陸や山沿いでは22日夕方にかけて、東日本・東北太平洋側では23日明け方にかけて雪となる見込み。内陸や山沿いを中心に大雪となり、平地でも積雪となって大雪となる所がある。基準の低い関東を中心に、大雪や路面凍結による交通障害に警戒・注意。なだれや着雪にも注意。低気圧の周辺は気圧の傾きが大きくなるため、全国的に強風や風雪、高波に注意。伊豆諸島では22日夜にかけて、落雷や突風、短時間強雨に注意。
- ② 23日は、1項②のトラフが日本海を東進し、23日夜には北日本へ進む。日本海の低気圧は、23日にかけて急速に発達しながら北東進。23日は、北陸地方・北日本日本海側を中心に暴風雪や高波に警戒し、大雪による交通障害に警戒・注意。低気圧のスケールが小さいため、急に風や降雪が強まる。
- ③ 低気圧通過後は、日本付近は強い冬型の気圧配置となる。23日夜には、北陸地方・北日本の上空に500hPaで-36℃以下の寒気が流入。23日夜から、日本海から北陸地方へのびる地上シアーラインが明瞭となり、しばらく大雪が続く見込み。大雪やなだれに警戒・注意。また、23日は低気圧やシアーライン近傍の西日本日本海側から東北日本海側で落雷や突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

最新GSM基本とするが、日本海の低気圧の予想はやや不確実。雪や雨の分布・強度、降水種別や量予報はMSMを参考にする。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

- ① 大雪ポテンシャル(18時からの24時間)：北陸50、北海道・東北・東海40、関東甲信30、近畿20、中国15cm。
- ② 波浪(明日まで)：北海道・東北・北陸6、中国・近畿・伊豆諸島5、その他で3～4m。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪と暴風雪及び高波に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。